

プラチナ展望

例年上昇傾向の1月・2月のプラチナ価格、2023年は南アの電力不足で、さらに上がる可能性も

年初めの1月、2月のプラチナ価格は、過去25年間の例を見ても非常にパフォーマンスが良い。今年はさらに南アフリカの電力不足問題が第1四半期の鉱山供給に影響を及ぼすことが考えられるため、この2ヶ月間の価格の動きがさらに投資家にとって有利になる可能性が高い。

各月のプラチナのプライスリターンを過去25年間にわたって分析したのを見ると、平均して1月と2月の価格が最も成績が良いことがわかる（下図と2ページの図1参照）。このふた月を合わせたリターンの平均は7.7%で、25年の間に1月と2月がネガティブだったのはわずか2年しかない。それと対照的に、年半ばの各月のプラチナ価格のパフォーマンスは年末にかけて回復するまで、目立った動きがないのが通常だ。

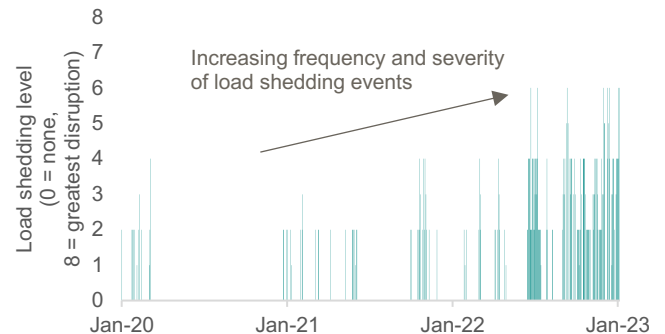
2ページの図3に示したように、鉱山の精錬プラチナ供給は季節的な要因に大きく左右され、通常、第1四半期の生産は一年を通じて最も少ない。これはクリスマス休暇・夏季休暇明けとなる南アフリカで操業が軌道に乗るのに時間がかかるためとされている。従って、1月と2月のプラチナ価格が上昇する傾向にあるのは、季節的な要因で第1四半期の精錬プラチナ生産が低いことに関係があると考えられる。

1月と2月のプラチナ価格が高くなりがちなのは、クリスマス休暇明けの南アフリカの鉱山生産が低いことと関係がある可能性

2023年1月の鉱山生産は低いが、電力消費量が少ない夏季にもかかわらず南アフリカの電力供給が悪化しているため、生産量はさらに減少する可能性も

25 Yr Avg. platinum price monthly returns	Jan	Feb	Mar	Apr
	4.11%	3.50%	-1.95%	0.90%
	May	Jun	Jul	Aug
	0.24%	-1.49%	0.55%	-0.22%
Sep	Oct	Nov	Dec	
-2.23%	0.15%	1.26%	1.68%	

資料：ブルームバーグ、WPIC リサーチ



資料：WPIC リサーチ

例年同様に生産が少ない今の時期、電力が不足している南アフリカでは、鉱山採掘、製錬、および精錬に必要な電力が制限されて、今後生産がさらに圧迫されることが考えられる。南アフリカの国営電力会社のEskomは、電力供給が足りない中で送電網の負担を制御するために計画的な停電の頻度を増やしており、状況は深刻化している（上の右の図、2ページの図3を参照）。

電力不足で鉱山の精錬プラチナ生産が減り、それがプラチナ価格を押し上げる要因となる一方で、価格が上がれば中国の過剰な輸入にストップがかかり、価格の更なる上昇は実現しない可能性もあることも忘れてはならない。というのは、今までのレポートで述べてきたように、中国はプラチナ価格が下がった時に大量に買う動きを見せており、実際、昨年11月にプラチナ価格が高騰した時には輸入量が減っているからである。

プラチナ価格が1月、2月は高くなりがち背景には、第1四半期の鉱山の精錬プラチナ生産が例年低いことがあるが、2023年は、南アフリカの電力供給の問題で、鉱山生産はさらに圧迫される可能性がある。

投資資産としてのプラチナの魅力:

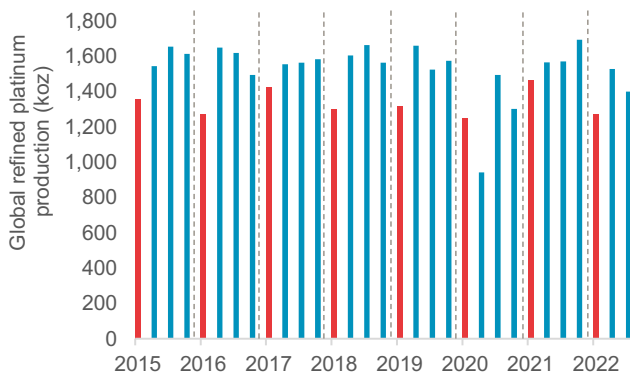
- 新たな鉱山投資にもかかわらず、供給には様々な障害
- 自動車の PGM 需要は、ガソリンエンジンにおける代替の動きにより今後も成長
- プラチナ価格は依然として過小評価されており、金とパラジウムと比較しても大幅に低い。
- 中国の需要を超える大量輸入で現物の不足とリースレートの上昇
- WPIC のリサーチではプラチナ市場は 2023 年から供給不足となり、その後も不足は拡大

図 1: プラチナの月間プライスリターン。過去 25 年間、毎年 1 月と 2 月の平均リターン率はほぼ 8% で、非常に良好なパフォーマンスを記録

	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
25 Yr Avg.	4.11%	3.50%	-1.95%	0.90%	0.24%	-1.49%	0.55%	-0.22%	-2.23%	0.15%	1.26%	1.68%
2022	5.48%	2.50%	-5.84%	-4.76%	3.15%	-7.45%	0.30%	-5.61%	1.78%	7.71%	11.45%	3.57%
2021	0.55%	10.67%	-0.47%	1.34%	-1.10%	-9.64%	-2.22%	-3.40%	-4.76%	5.66%	-8.13%	3.16%
2020	-0.57%	-9.86%	-16.53%	7.47%	7.83%	-1.02%	9.13%	2.94%	-4.14%	-5.12%	14.21%	10.77%
2019	3.31%	5.94%	-2.46%	4.56%	-10.64%	5.17%	3.59%	7.98%	-5.43%	5.63%	-3.93%	7.87%
2018	7.95%	-1.84%	-5.24%	-2.95%	0.27%	-5.91%	-1.72%	-6.06%	3.57%	2.58%	-4.64%	-0.31%
2017	10.18%	2.94%	-7.22%	-0.44%	0.40%	-2.54%	1.59%	6.22%	-8.72%	0.80%	2.56%	-1.56%
2016	-2.25%	4.91%	4.48%	10.32%	-9.01%	4.59%	12.12%	-8.40%	-2.35%	-4.42%	-7.07%	-1.03%
2015	2.78%	-4.25%	-3.94%	0.32%	-2.90%	-3.01%	-8.86%	2.66%	-10.13%	8.58%	-15.62%	7.25%
2014	0.46%	5.01%	-1.98%	0.57%	1.84%	2.35%	-1.71%	-2.49%	-8.65%	-4.96%	-2.88%	0.59%
2013	8.92%	-5.63%	-0.79%	-4.06%	-3.23%	-8.02%	7.35%	5.77%	-7.78%	3.23%	-5.89%	0.51%
2012	13.81%	8.29%	-2.41%	-4.38%	-9.67%	2.28%	-2.24%	8.81%	7.92%	-5.63%	2.14%	-3.87%
2011	1.36%	0.78%	-2.21%	5.94%	-2.18%	-5.98%	3.36%	3.71%	-17.41%	4.89%	-2.53%	-10.55%
2010	2.87%	2.48%	6.58%	5.84%	-10.09%	-1.95%	2.58%	-3.12%	8.66%	2.81%	-2.44%	6.56%
2009	5.72%	8.65%	5.12%	-1.82%	7.67%	-1.38%	3.06%	2.14%	4.80%	2.14%	9.71%	0.57%
2008	13.93%	23.04%	-7.51%	-3.43%	4.23%	2.99%	-14.91%	-15.56%	-31.99%	-18.60%	7.11%	6.01%
2007	3.87%	5.93%	-0.56%	3.46%	-0.43%	-0.62%	1.34%	-1.71%	9.31%	4.47%	-0.55%	6.01%
2006	11.41%	-2.75%	1.09%	8.51%	7.98%	-1.45%	0.24%	1.02%	-8.25%	-5.26%	9.97%	-4.40%
2005	1.10%	-0.69%	0.29%	0.35%	-0.98%	2.32%	1.59%	-0.61%	4.49%	0.75%	4.16%	-0.61%
2004	2.95%	5.37%	2.38%	-11.62%	4.88%	-5.73%	3.86%	5.55%	-0.58%	-3.02%	4.04%	-0.78%
2003	12.60%	1.18%	-5.56%	-5.27%	5.07%	3.42%	3.31%	3.42%	-0.49%	5.94%	2.27%	6.27%
2002	-5.24%	8.29%	6.02%	4.04%	0.74%	-1.29%	-1.10%	6.57%	-0.71%	2.45%	2.72%	1.33%
2001	-1.47%	1.91%	-8.54%	5.96%	2.27%	-7.88%	-15.14%	-6.40%	-3.03%	-2.89%	6.43%	6.82%
2000	11.30%	-3.86%	0.83%	4.95%	7.27%	2.93%	3.20%	1.38%	-1.90%	0.12%	5.80%	0.25%
1999	-5.26%	10.46%	-5.29%	-2.35%	2.83%	-3.92%	-0.93%	0.87%	12.75%	6.86%	4.04%	1.14%
1998	6.89%	-0.90%	5.46%	-0.37%	-8.56%	-2.38%	4.05%	-4.85%	-2.38%	-3.87%	5.67%	3.16%
1997	-5.74%	12.38%	-6.42%	1.14%	8.61%	5.45%	2.47%	-6.65%	7.37%	-7.03%	-5.86%	-5.10%

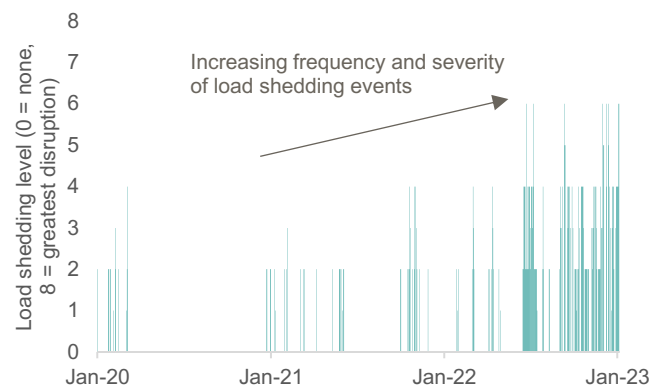
Source: Bloomberg, WPIC Research

図 2: 毎年第 1 四半期の鉱山の精錬供給が低いのは、クリスマス休暇・夏季休暇明けの南アの状況を反映しており、その時期にプラチナ価格が高くなりがちな背景である可能性もある



資料: 2019 年から 2022 年 (予測) はメタルズフォーカス、2013 年から 2018 年は SFA (オックスフォード)、ブルームバーグ、WPIC リサーチ

図 3: 毎年第 1 四半期の鉱山の精錬供給は低いが、今年は、南アの電力不足が夏季で消費電力が少ないにもかかわらず悪化している状況から、生産がさらに圧迫される可能性もある。計画停電は電力が不足する中で送電網を制御するために行われる。



資料: EskomSePush, WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。